

質問 7 あなたは、覚せい剤を使うことについてどのように考えていますか。

(あなたの考えにあてはまるものを一つだけ選んで教えて下さい)

1. どのような理由であれ、絶対に使うべきでないし、許されることではない。
2. 心や体への害がないなら、1回くらい使ってもかまわない。
3. 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である。
4. その他
5. わからない。

	1	2	3	4	5
男・16～19歳	85.7	0	10.2	0	4.1
20歳代	92.3	3.8	2.6	0	1.3
30歳代	92.3	1.3	5.1	0	1.3
40歳代	93.4	1.9	4.7	0	0
50歳代	93.6	2.1	2.1	0	2.1
60歳以上	93.6	1.3	0.9	0.4	3.9
女・16～19歳	85.4	4.2	4.2	0	6.3
20歳代	93.3	1.1	5.6	0	0
30歳代	96.9	0.8	0	0	2.3
40歳代	100	0	0	0	0
50歳代	98.5	0.5	0.5	0	0.5
60歳以上	95.3	0.5	0.5	0	3.8

性別・年代を問わず「どのような理由であれ、絶対に使うべきではない」と答えた割合が最も高くなっている。しかしながら、女性の30歳以上を除き、「心や体への害がないのなら、1回くらい使ってもよい」、「他人に迷惑をかけていないので、個人の自由である」を選ぶ者の数が合計で5%程度以上になっている。特に、男の16歳から19歳では10.2%の者(5名がこの選択肢を選んでいる)が「他人に迷惑をかけていないので、個人の自由である」を選んでいることは憂うべきことであり、早急に若年層に対する教育を行わないと、覚せい剤の乱用が増えていくことになると思われる。

女性の40歳代の回答者は195名であったが、全員が「どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない」を選んだことの方が奇異に感じる。もっとも、50歳代、60歳以上の女性でも「他人に迷惑をかけないで、使うかどうかは個人の自由である」を選んだのは1名しかおらず、30歳以上の女性は覚せい剤に対して否定的な考えが強いのかもしれない。

Fig.7

質問7(性・年代別集計)

